

あいち防災フェスタ （あいち防災協働社会推進大会） 防災&ボランティアフォーラム が開催されました！

南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるため、県民や自主防災組織、企業、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の形成を推進することが重要となっております。こうした中、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とするあいち防災フェスタ

（あいち防災協働社会推進大会）・防災&ボランティアフォーラムが「あいち地震防災の日」の平成25年11月10日（日）に愛・地球博記念公園（モリコパーク）で開催されました。



大村知事あいさつ

OS☆Uライブステージ



会場の様子

大村知事のあいさつを皮切りにオープニングセレモニーが始まり、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した9団体に對して、防災貢献団体表彰が贈られました。

セレモニー終了後、会場となった地球市民交流センターでは、あいち消防団PR大使「OS☆U」によるライブステージが行われたほか、炊飯体験や豚汁の炊出し、「家庭でできる防災対策」自然を知り、災害に備えよう！と題した講演会も実施されました。

その他、各ブースでは、災害時に役立つ知識の紹介や、被災地の写真展示・特産物販売が行われた他、全地形対応車（通称サラマダー）を始めとする防災関係車両の展示や、子ども用防火衣を着用して消防車と記念撮影等、子どもからお年寄りまで、楽しみながら防災に関心をもっていただくきっかけとしていただけようです。

尾張旭防災リーダー会（尾張旭市）市や自主防災組織主催の防災訓練、防災講習会で講師を務め、地域防災力の向上に貢献しています。特に家具転倒防止の啓発に力を入れており、独自に啓発冊子「誰でも出来る家具の転倒防止マニュアル」を作成するなど、啓発活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。

平成25年度 防災貢献団体表彰受賞団体の取組を紹介します！ ※五十音順

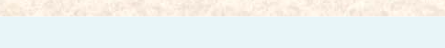
北山崎町自主防災会（安城市）毎年実施する防災訓練で、より住民が参加しやすいよう、非常食を食べながら交流を行う組別ミーティングや防災運動会、防災クイズを組み込むなど、創意工夫を凝らしています。

尾張旭防災リーダー会（尾張旭市）市や自主防災組織主催の防災訓練、防災講習会で講師を務め、地域防災力の向上に貢献しています。特に家具転倒防止の啓発に力を入れており、独自に啓発冊子「誰でも出来る家具の転倒防止マニュアル」を作成するなど、啓発活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。

岩田校区防災会連絡協議会（豊橋市）校区の防災訓練を毎年継続して実施するとともに、より多くの住民参加を促すため、地域住民が多く集まる校区運動会の中に、担架搬送訓練・パケツリレーを取り入れ、住民参加型訓練を実施するなど、地域に密着した活動を行っています。



表彰式の様子（あいち防災フェスタ）

過去に受賞した自主防災会の紹介はこちら
http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisyubou_shoukai/syuzai.html

明治町自主防災会（大治町）名古屋市内港防センターや海部地方消防指令センターなどの視察の実施及び手作りハザードマップの作成、さらには子供から大人まで楽しく防災を学べる「明治町ぼうさい祭」の開催など、地域防災力の向上に努めています。

西桑田団地自主防災会（犬山市）毎年地区の防災訓練を実施し、その内容は、煙道体験や救出訓練、救護訓練、消火器訓練、炊き出し、家具等の転倒防止啓発等充実しており、知識・技能の向上に努めています。

玉貴西一区自主防災会（武豊町）地域防災力向上のため、毎年、消防署や消防団と共に防災訓練を実施しています。また、避難所運営訓練を他の自主防災会と協力して実施しています。区長を始め玉貴西一区の防災リーダーは地元保育園・学校の避難訓練・防災学習に参加し地域に密着した活動を行っています。

下野連区自治会（瀬戸市）地域の避難場所や街頭消火器、AED、井戸等の場所を詳しく記した地域防災マップの作成や防災を課題とした地域力向上を目指す定例会を月一回開催し、話し合いや情報交換の場を設けるなど、地域防災力の強化を行っています。

あいち防災協働社会推進協議会より



公益財団法人愛知県国際交流協会 浅田功常任理事兼事務局長

一今回は、あいち防災協働社会推進協議会委員の公益財団法人愛知県国際交流協会の浅田功常任理事兼事務局長にお話を伺います。まず、国際交流協会とはどのような団体ですか。
愛知県国際交流協会は、地域の国際交流活動を進めるとともに、様々な国籍や多様な文化を背景とした人々がともに安心して暮らせる地域づくりを推進するため、民間国際交流団体等の活動支援や人材育成、外国人県民への相談対応・情報提供など各種の国際交流活動を行っている行政と民間が一体となった中間支援組織です。

一国際交流協会の防災に対する取組を教えてください。
大規模災害時には、当協会が外国人支援の拠点として機能する必要がありますので、外国人向けに多言語化した防災関係情報をFMラジオで放送しているほか、災害時語学ボランティア登録者への研修を実施するなど、大規模災害に備えた取組を進めています。
また、災害時に行政機関などが発信する災害情報を多言語化して外国人県民に届ける「災害多言語支援センター」の設置に向けた検討を関係団体と進めるとともに、東海北陸地域の県・政令市国際交流協会と相互にボランティア等の派遣を行うための支援協定を締結するなど、広域的な連携にも取り組んでいます。
今年度は、外国人県民の自助力を高めることを目的として、あいち防災協働社会推進協議会が作成した「防災・減災備し（そなえる）ガイド」を外国人向けに分かりやすくした「防災チェックガイド」を多言語（英語・ポルトガル語・中国語・スペイン語）で作成して市町村などに配布

するとともに、豊橋市、岡崎市、犬山市では地元の自治会とも連携して外国人住民を対象にした防災教室を開催しました。
一防災協働社会を推進していくには、どんな取組が大切だと思われますか。
災害時には、日本人も外国人もなく、みんなで助け合うことが重要です。このため、日本人県民も外国人県民も同じ地域の住民として日頃からつながりを持つ多文化共生社会を築くことが大切です。
外国人県民は、報道や行政からの情報が理解できなかつたり、出身国によっては地震に対する備えや地震そのものを知らない人もいます。そこで、普段から災害に備えてもらい、非常時に正確な情報を伝えることができれば、「災害時要援護者」ではなく、支援者としての活動も期待できます。実際に東日本大震災では、多くの外国人が支援者として活躍しています。
当協会も日本人と外国人県民のつながりづくりを今後も進めていきたいと思っております。



防災チェックガイド

防災チェックガイドのダウンロードはこちら
http://www2.aia.pref.aichi.jp/kikaku/j/bosai_guidebook/index.html